

鉄道駅間にあるペDESTリアンデッキの利用意識分析*

Evaluation of atmosphere on transfer pedestrian deck at center of Toyota city*

石原愛**・大場健司***・増岡義弘***・野田宏治****・荻野 弘*****

By Ai ISHIHARA**・Kenji OOBA***・MASUOKA***・Koji NODA****・Hiroshi OGINO*****

1. はじめに

豊田市には名古屋鉄道三河線と豊田線，愛知環状鉄道が乗り入れ，双方の鉄道線を乗り継ぐためには両駅をつなぐペDESTリアンデッキ（以後デッキという）を利用する．豊田市中心市街地も商業の衰退が色濃く，夜間のデッキは人通りも少なくなり，防犯上の不安も聞かれるようになってきた．

そこで本研究では，デッキが完成してから15年以上が経過していることもあり，現在のデッキが抱える問題点を，デッキ利用者の意識調査から明らかにすることとした．

2. ペDESTリアンデッキの周辺

(1) ペDESTリアンデッキ

写真-1に豊田市内のデッキを示す．デッキは名古屋鉄道の豊田市駅と愛知環状鉄道の新豊田駅とを結び，中ほどには，アーチ状のオブジェがあり百貨店と商業施設の入るビルが両側にある．全長は約200mで，1988年9月に開通した．通路の一部は屋根（アーケード）で覆われ，雨を凌ぐことができる．またデッキは地下駐車場とエレベータで結ばれ，デッキ下にはバス停やタクシー乗降場がある．

(2) 名古屋鉄道豊田市駅

名古屋鉄道豊田市駅は，名古屋本線知立駅と三河線猿投駅とを結ぶ三河線，豊田市駅を終発とし，

*キーワード：ペDESTリアンデッキ、意識分析、交通計画

**豊田工業高等専門学校 環境都市工学科

*** 正員, 工修, (財)豊田都市交通研究所

(豊田市西町4-25-18(中根ニッセイビル3F),

TEL0565-31-8551, FAX0565-31-9888)

**** 正員, 博(工), 豊田工業高等専門学校 環境都市工学科

(豊田市栄生町2-1, TEL&FAX 0565-36-5878)

***** 正員, 工博, 豊田工業高等専門学校 環境都市工学科

(豊田市栄生町2-1, TEL&FAX 0565-36-5875)

名古屋市営地下鉄鶴舞線と相互乗り入れをする豊田線が発着している．平日の運行本数は，三河線が上下143本，豊田線は発着76本で，平成14年度平日の1日平均乗降客数は24,900人で，経年的な乗降客数は，横ばいである．

(3) 愛知環状鉄道新豊田駅

愛知環状鉄道は，JR東海道線岡崎駅とJR中央線高蔵寺駅間全長45.3kmで，岡崎，豊田，瀬戸，春日井の4市を結んでいる．歴史は，昭和45年10月に国鉄岡多線として，岡崎と北野柵塚間で貨物営業に始まり，昭和51年4月に新豊田駅まで延伸し旅客営業を開始した．昭和63年1月31日に岡崎 - 高蔵寺間4の全線が開業し，第三セクターとして運営が始められた．新豊田駅は岡崎駅と高蔵寺駅とのほぼ真中に位置する．運行本数は平日上下86本，平成14年度平日の1日平均乗降客数は7,700人で，近年の乗降客数は若干増加傾向にある．

2005年に開催される「愛知万博」では，JR名古屋駅から高蔵寺駅を経て，万博八草駅まで直通運転され，主要交通機関として位置づけられている．



写真 - 1 ペDESTリアンデッキ

(4) 鉄道の乗り換え

名鉄豊田市駅と愛環新豊田駅における朝の電車発着時刻表を表 1 に示す。電車の運行本数は名鉄が多く、愛環の運行本数が少ないことから、名鉄から愛環への乗り換えはあまり便利とはいえない。一方、愛環から名鉄へは、運行本数が多い側へ乗り換えることになり、利便性が高い。

表 - 1 鉄道の乗り換え（朝）

名鉄（到着時刻）		愛環（出発時刻）	
知立方面から	梅坪方面から	岡崎方面へ	高蔵寺方面へ
			6:07
6:12	6:12,26	6:32	30
35,44	38		50
59	59		
	7:10	7:15	7:14
7:14,29		37	38
44	40		
	54	59	59
		8:20	8:19

愛環（到着時刻）		名鉄（出発時刻）	
岡崎方面から	高蔵寺方面から	知立方面へ	梅坪方面へ
			6:02
6:06		6:15,30	13,17
29	6:29	45	31,35,41,47
49		7:00	53,00,03
	7:08	15	11
7:12		30	15,19
33		45	

3. デッキ利用者の意識調査

(1) 調査内容

デッキ利用者に対する調査内容を表 - 2 に示す。大きくは5区分に大別でき、質問総数は49である。

表 - 2 調査内容

・個人属性（性別、年齢、住所、免許の有無）
・乗り換えについて （2つの駅の連絡性、デッキの利便性、案内板の有効性等）
・デッキ利用時間帯別の意識 （雰囲気、利便性、治安、照明の明るさ、歩きやすさ等）
・電車利用度に関する意識 （使用理由、使用頻度、電車賃額等）
・自由記述 （日常感じていること、要望など）

(2) 調査票の配布・回収

調査は、最も頻繁にデッキを利用する平日の通勤・通学者を主な調査対象者としたために、以下の

日時に、デッキの両端にあたる豊田市駅側と新豊田駅側の2カ所で2,000票の調査票を配付した。

調査票の回収は、両駅の改札口に設置した回収箱と郵送により行なった。

配付日時：

平成16年1月28日（水）14時～21時

平成16年1月29日（木）6時～13時

回収方法：

両駅の回収箱に投函（134票）

郵送による回収（郵便料金着払い、397票）

配布数に対する有効回収率は、26.5%であった。

4. デッキ利用者の意識分析

(1) 個人属性とデッキの利用頻度

回答者の性別は、男性42.8%、女性55.1%。年齢分布は、図 - 1 に示すように40歳代が20%、30歳代がそれぞれ18%となっている。

図 - 2 に職業を示す。会社員が40%で最も多く、次いで主婦、パートの順になる。中高生、大学生は合わせて12%となっている。

回答者の約半数が週に5日以上デッキ利用と答え、月に1日程度が18%、週に3日程度11%、週に1日程度が9%となっている。

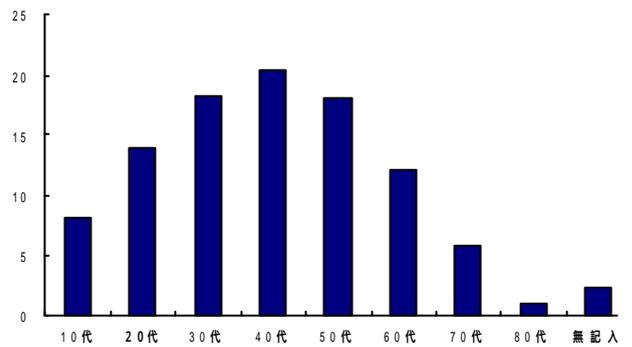
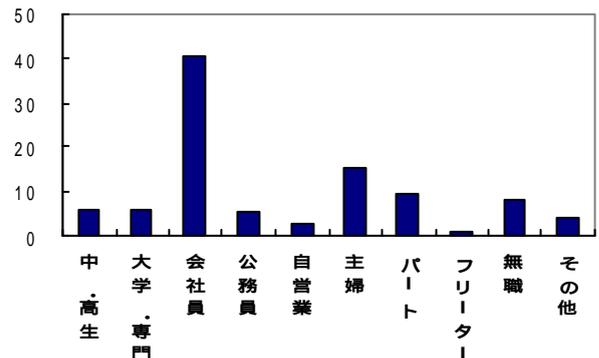


図 - 1 回答者年齢



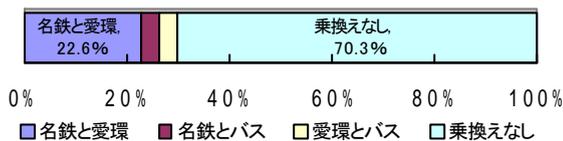


図 - 3 乗り換え

(2) 乗り換え

乗り換えの有無について図 - 3 に示す。名鉄と愛環との乗り換えは、回答者の23%で、名鉄、愛環とバスへの乗り換えについては、わずか7%である。乗り換えをしないとする回答は70%である。

(3) 通路の長さ

調査では、朝の通勤時間帯、昼間、夕方・夜の帰宅時間帯にデッキを歩く時の通路の長さについて聞いている。長さの感じ方は「短い」が朝、昼、夜共に10%、朝、夜はほぼ同じ傾向を示し、「長い」が50%となっている。昼については「普通」とする回答が50%以上あり、「長い」とする回答は30%程度である。

(4) 利便性

時間帯別の利便性を図 - 4 に示す。夜では「悪い」とする側の回答が増加している。一方「良い」とする側の回答は1日を通して20%程ある。昼の「普通」は50%以上となる。

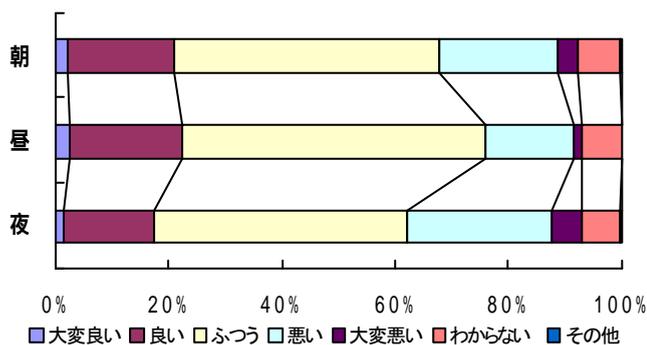


図 - 4 利便性

(5) 雰囲気と治安

デッキの雰囲気を図 - 5 に示す。デッキの雰囲気は、朝に「悪い」とする回答が8%程度となっている。朝、昼共に「普通」の回答が60%となっており、雰囲気については、朝と昼がほぼ同じで、夜には雰囲気がかなり良くないことが分かる。

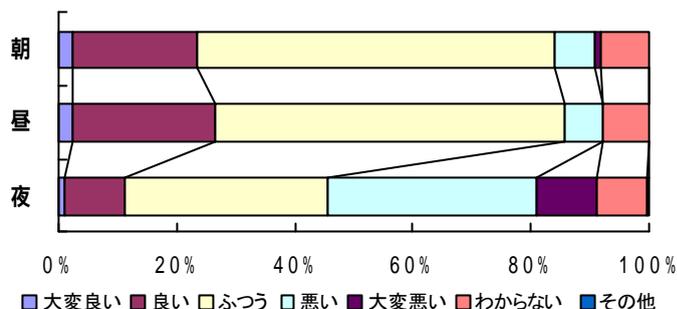


図 - 5 雰囲気

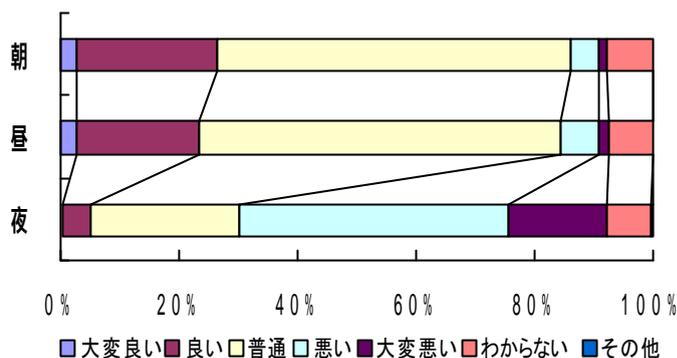


図 - 6 治安

デッキの治安を図 - 6 に示す。朝、昼共に「良い」とする回答が20%以上あり、「普通」の回答は60%となっている。一方夜については、一変し「良い」とする回答は5%以下となり、「悪い」とする回答は60%以上となる。ところが夜の回答では「悪い」とする回答が45%に増加している。

5. 自由記述に見る利用者意識

表 - 3 に自由記述の内容を示す。自由記述には、デッキにほしい施設、デッキに対する期待、あれば便利、移動改善希望の4種類を示した。

ほしい施設については、コンビニ9%、ファーストフード4%、ポスト4%となっている。これら施設は、すべて名鉄豊田市駅周辺にある。またわずかではあるが愛環施設に対する要望があり、案内の不十分さを指摘している。

デッキに対する期待については、雨の改善が11%ある。ごみに関するものが3%となっている。

あれば便利については、コンビニ3%、ポスト2%で、これら項目は、ほしい施設と同様の順位となっている。

表-3 自由記述

ほしい施設	%	通路に対する期待	%	あれば便利	%	通路移動改善希望	%
コンビニ	9.4	雨関係の改善	11.4	コンビニ	3.4	雨対策	9.4
ファーストフード	4.0	ゴミ	2.6	ポスト	2.3	階段	2.9
ポスト	3.7	階段なし	1.7	トイレ	1.1	動く歩道	1.1
愛環の案内施設	2.9	段差なくす	1.1	カフェ	1.1	照明	0.9
トイレ	2.0	距離短く	0.9	ゴミ	0.9	ゴミ	0.6
薬局	1.7	ティッシュ配り	0.9	クリーニング屋	0.9	段差	0.6
コーヒー	1.1	水たまりなくすこと	0.6	ATM	0.9	スケボー	0.6
カフェ	1.1	凍結	0.6	銀行	0.9	スペース	0.6
段差	1.1	アーケード(広)	0.6	郵便局	0.9	風除け	0.3
花	1.1	花	0.6	動く歩道	0.9	ポスト	0.3
風除け	0.9	拡幅	0.3	雨よけ	0.9	ATM	0.3
パン屋	0.9	工事の早期終了	0.3	ファーストフード	0.6	寒さしのぎ	0.3
ATM	0.9	風除け	0.3	花	0.6	アーケード	0.3
郵便局	0.9	照明	0.3	スペース	0.6	花をおく	0.3
銀行	0.9			コーヒー	0.3	不良	0.3
掲示板	0.9			風除け	0.3		
動く歩道	0.6			パン屋	0.3		
照明	0.6			乗り場・時刻・案内図	0.3		
寒さ対策	0.6			薬局	0.3		
地図	0.3			照明	0.3		
広いアーケード	0.3						
ごみ箱	0.3						
クリーニング屋	0.3						

移動時の改善希望については、雨対策9%、階段3%となっている。その他の項目はわずかである。自由記述全般を見ると、雨対策に対する意見が多く、現在設置されているアーケードが十分に機能を果たしていない状況にある。また、鉄道を乗り換えるデッキ利用者が乗り換えの動線上に各種施設や利便性を求める設備を求めている。

6. まとめ

豊田市内駅間をつなぐデッキの利用者に利用時の意識調査を行い、以下のことが明らかとなった。

- 1) デッキ利用者のうち、鉄道の乗り換えは23%であること。
- 2) デッキの雰囲気は、夜になると極端に「悪い」とする回答が増加し、朝、昼の10%以下から60%以上になる。
- 3) 治安についてもデッキの雰囲気と同様で、夜の治安悪化を不安としている。

自由記述からは、

4) ほしい施設にコンビニ等をあげており、これら施設は、駅周辺に位置しているが、移動する動線上に利便性を求めている。

5) デッキ上には駅間をつなぐアーケードが設置されているが、雨対策を求めていることから、雨天時には何らかの問題点が存在している。

今後はこれら利用者の意識と現地での状況把握を行い、それら問題点を解決することで、より快適な歩行空間を実現していかなければならない。

最後に、本研究を進めるにあたって、調査票回収箱の設置等で、名古屋鉄道株式会社豊田市駅ならびに愛知環状鉄道株式会社新豊田駅関係者にご配慮をいただきました。記して感謝します。